

# 2018年度 日本市場における暗号化動向

マルチクラウドの利用と知的財産の保護が加速する、暗号化と鍵管理の新たな時代

2018年9月

日本国内468名から得た調査結果



**45%**  
会社規模で一貫した暗号化戦略の導入を推進

## 慎重に扱うべきデータに対する脅威とは



## マルチクラウドの暗号化



**74%**の回答者がパブリッククラウドサービスでの暗号化を大規模または部分的に行っている



**63%**の回答者が2社以上のパブリッククラウドプロバイダーを利用している



**83%**の回答者が現時点で慎重に扱うべきアプリケーションやデータとそうでないアプリケーションやデータに対してクラウドを利用しているか、今後12~24ヶ月以内に利用する予定である



**13%**増加！  
**76%**が今後2年以内に複数のパブリッククラウドプロバイダーを利用する予定である

しかし、重要なのはクラウド上での**管理**である



**57%**の組織が、保存されたデータの暗号化に**自社**で制御されている鍵のみを使用する予定



**53%**のクラウドベースのアプリケーションとHSMを併用する組織が、**オンプレミス**でHSMを所有・運用することを好んでいる

ハードウェアセキュリティモジュール (HSM) は、暗号処理と鍵の保護を行う認証取得済みの信頼されたプラットフォームです

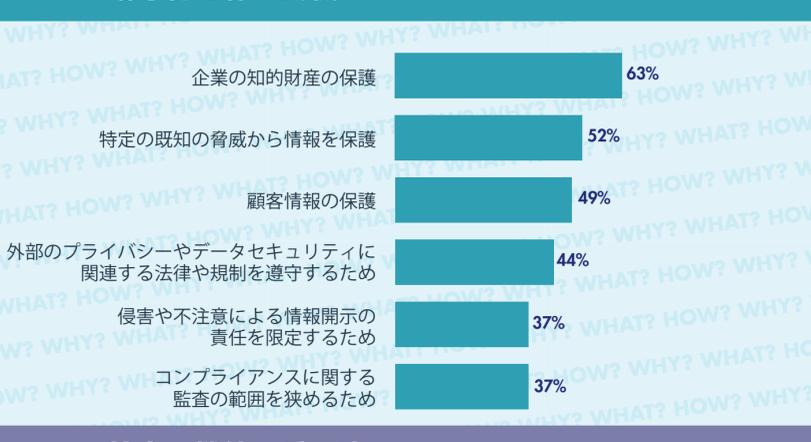


## 暗号化の理由、対象、方法

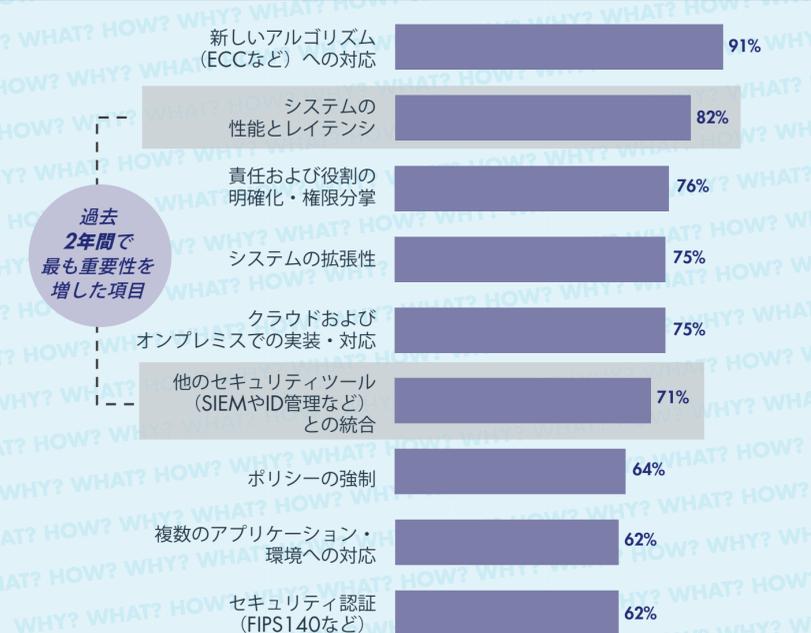
### 組織にとっての暗号化の課題



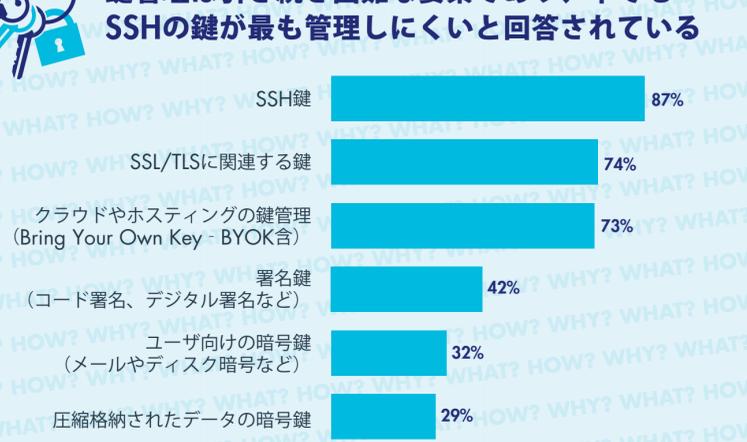
### 暗号化を行う動機



### 特定の機能の重要度

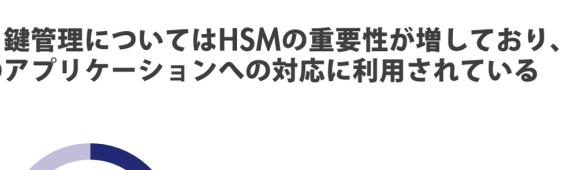


鍵管理は引き続き困難な要素であり、中でも**SSHの鍵が最も管理しにくいと回答されている**

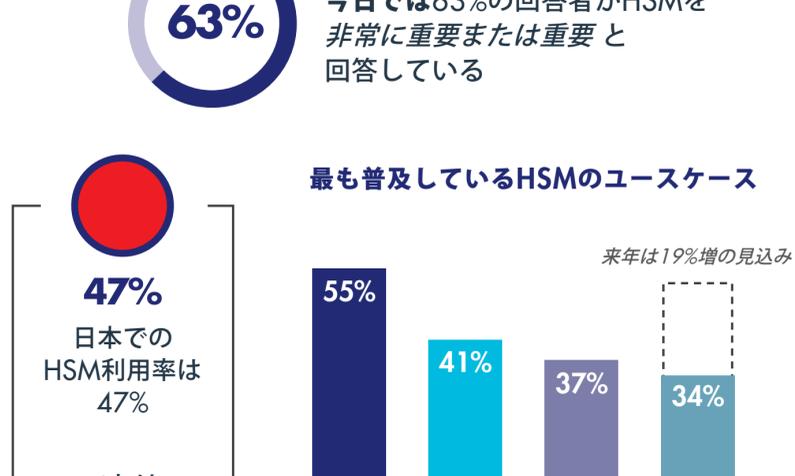


## ハードウェアセキュリティモジュール (HSM) の重要性

暗号化と鍵管理についてはHSMの重要性が増しており、最先端のアプリケーションへの対応に利用されている

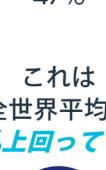


### 最も普及しているHSMのユースケース



**47%** 日本でのHSM利用率は47%

これは全世界平均を**6%上回っている**



レポートをダウンロードする

